

製品名: アネキシン II ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06922**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	ANXA2 ANXA2; ANX2; ANX2L4; CAL1H; LPC2D; Annexin A2; Annexin II; Annexin-2; Calpactin I heavy chain; Calpactin-1 heavy chain; Chromobindin-8; Lipocortin II; Placental anticoagulant protein IV; PAP-IV; Protein I; p36
別名	
遺伝子 ID	302.0
SwissProt ID	P07355
免疫原	抗血清はヒトアネキシン II 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 88-137

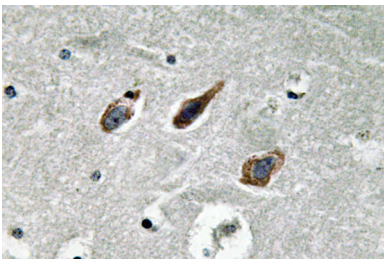
背景

この遺伝子はアネキシンファミリーのメンバーをコードします。このカルシウム依存性リン脂質結合タンパク質ファミリーのメンバーは、細胞増殖の調節およびシグナル伝達経路において役割を果たします。このタンパク質は、破骨細胞形成および骨吸収を促進するオートクリン因子として機能します。この遺伝子には、それぞれ4番染色体、9番染色体、および10番染色体に位置する3つの擬遺伝子があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008年7月],ドメイン:一對のアネキシン反復配列が、カルシウムとリン脂質の1つの結合部位を形成する可能性があります。機能:カルシウムに対する親和性が陰イオン性リン脂質によって大幅に高まる、カルシウム調節性膜結合タンパク質です。2つのカルシウムイオンと高い親和性で結合します。熱ストレス応答に関与している可能性がある。、その他:細胞膜リン脂質をアクチンおよび細胞骨格と架橋し、エキソサイトーシスに関与している可能性がある。、オンライン情報:Red velvet - 2007年9月号第86号,PTM:Tyr-24のリン酸化は、熱ストレスによって誘発される細胞表面への移行を促進する。、類似性:アネキシンファミリーに属する。、類似性:4つのアネキシンリピートを含む。、細胞内局在:細胞膜直下のラミナ内。質量分析により、ステージIからステージIVまでのメラノソーム分画で同定された。ゴルジ体非依存的メカニズムにより細胞質から細胞表面へ移行する。、サブユニット:S100A10/p11の軽鎖2本とANXA2/p36の重鎖2本を含むヘテロ四量体。ATP1B1およびDYSFと相互作用します。

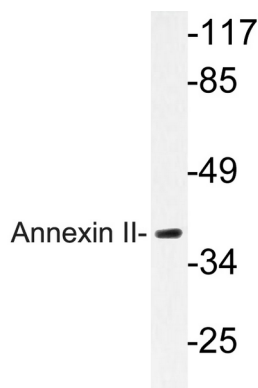
研究分野

シグナル伝達

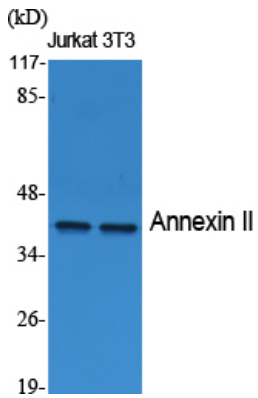
画像データ



パラフィン包埋ヒト脳組織におけるアネキシン II 抗体の免疫組織化学分析。



Annexin II 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



1: 2000 希釈のアネキシン II ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 2000 希釈のアネキシン II ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウェスタンブロット解析